

# 島津義弘の文と武 木崎原合戦450年 記念トークショー

入場無料

事前申込不要  
〈先着順〉〈自由席〉



日向国真幸院木崎原古戦場跡  
(えびの市)

令和4年 7月18日(月・祝)

14:00 から  
16:00 まで  
(13:30受付)

えびの市文化センター  
(宮崎県えびの市大字大明司2146-2)



講師・パネリスト

新名一仁

志学館大学非常勤講師



パネリスト

小栗さくら

歴史タレント

2022年は木崎原合戦450年にあたります。島津義弘(忠平)が日向国伊東氏の軍勢に打ち勝ったこの戦いは、島津氏による三州統一の契機となったといわれるだけでなく、妻・宰相殿の武功や敵味方供養、愛馬の伝説など様々な物語によって彩られています。

トークショーを通して、義弘を中心とした戦国島津と、合戦地となったえびの市の魅力について発信します。

## スケジュール

13:30	開場
14:00	開会のあいさつ
14:05 ~ 14:35	基調講演「義弘の真幸入部と木崎原合戦の意義」 (新名一仁)
14:35 ~ 14:45	休憩
14:45 ~ 15:55	パネルディスカッション (新名一仁、小栗さくら、深港恭子、岩川拓夫)
15:55	閉会のあいさつ
16:00	閉会



パネリスト

深港 恭子

鹿児島県歴史・美術センター  
黎明館学芸員



コーディネーター

岩川 拓夫

仙巖園学芸員

主催 三州同盟会議 (始良市・日置市・えびの市・湧水町)

問合せ先 三州同盟会議事務局 (始良市商工観光課) TEL 0995-66-3145



島津義弘公像  
(道の駅えびの)

# 島津義弘の文と武 木崎原合戦450年 記念トークショー 登壇者紹介

◆基調講演テーマ「義弘の真幸入部と木崎原合戦の意義」



新名 一仁 (にいな かずひと)

1971年、宮崎県宮崎市生まれ。南北朝時代から戦国時代にかけての島津氏、南九州政治史を研究。鹿児島大学法文学部人文学科卒業、広島大学大学院文学研究科博士課程後期国史学専攻単位取得退学、博士(文学、東北大学)。著書に、『島津貴久一戦国大名島津氏の誕生』(戎光祥出版)、『島津四兄弟の九州統一戦』(星海社新書)、『「不屈の両殿」島津義久・義弘』(角川新書)、『現代語訳上井覚兼日記』1、2(ヒムカ出版)などがある。

◆パネルディスカッション



小栗 さくら (おぐり さくら)

東京都生まれ。父親は鹿児島県出身。博物館学芸員資格を持つ歴史好きタレント・歴史小説家として、TV番組・イベント・講演会等、多数出演している。また、歴史系アーティスト「さくらゆき」のヴォーカルとして、戦国時代を中心に幕末期、源平時代などの歴史をテーマにした歌をうたう。島津義弘を描いた『木崎原』や島津豊久を描いた『証』という楽曲もある。関ヶ原観光大使。いずのくに北条PR大使。歴史小説『余烈』(講談社)発売中。



深港 恭子 (ふかみなと きょうこ)

1969年生まれ、本籍垂水市。西南学院大学国際文化学科ヨーロッパ文化専攻卒、1993年から鹿児島県歴史資料センター黎明館資料調査編集員。2003年、指宿白水館美術館建設準備室学芸員となる。2008年2月、薩摩伝承館開館により、薩摩伝承館学芸員となる。2016年6月より、鹿児島県歴史資料センター黎明館主任学芸専門員美術・工芸(薩摩焼)担当となり、現在に至る。2018年、明治維新150周年記念黎明館企画特別展「華麗なる薩摩焼一万国博覧会の時代のきらめき」を担当。日本陶磁史。薩摩焼並びに明治期の輸出陶磁器を中心に研究。



岩川 拓夫 (いわかわ たくお)

仙巖園文化事業課課長代理  
1985年鹿児島生まれ、大阪大学大学院修了後、尚古集成館学芸員や日置市教育委員会学芸員を経て、仙巖園で学芸員をつとめる。  
南日本新聞で2019年から今年まで「かごしま戦国絵巻」を連載。県内外の歴史イベントのコーディネートをこなす。  
三州同盟会議のコーディネーターを兼ねる。